

# 読賣新聞

C O R P O R A T E G U I D E

会社案内

最新情報はここから▶



# ごあいさつ

読売新聞は、1874年、東京・虎ノ門の2階建ての小さな建物で創刊されました。関東大震災と終戦直前の空襲では、2度も社屋を失いましたが、戦後、全国に強固な販売店網を構築し、飛躍的な発展を遂げました。正確で迅速な報道と、中道で良識ある社説を掲げ、世界一の発行部数を誇る新聞社に成長し、1994年には1000万部を超え、日本を代表する新聞の座を確固たるものにしました。

本社は長年、報道機関として、新聞の制作・発行を通じ、民主主義の根幹となる健全な世論を育むという社会的使命を果たしてきました。この役割を安定的に続けられるよう、新聞発行以外の事業によって経営基盤を多角化、強化してきました。プロ野球・読売巨人軍を創設し、日本初の民間テレビ放送局・日本テレビや、読売日本交響楽団を設立するなど、社会に役立つ事業を次々に拡大してきたほか、老舗出版社・中央公論新社をグループに迎え入れたのもその一例です。

2021年には、よみうりランドを完全子会社化し、グループ7社目の基幹会社に位置づけるとともに、巨人軍の本拠地球場を運営する東京ドームの主要株主になりました。現在、関連会社・団体は約150にのぼり、スポーツ、文化、エンターテインメント、医療、福祉と幅広い分野で事業を展開することで、国民生活の向上と日本の発展に積極的に貢献しています。

デジタル端末による情報化が進んだ結果、世界では、インターネット、ソーシャルメディアなどから情報を得る習慣が広がっています。この傾向は、世界中の生活、文化、人々の教養や言論、世論に大きな影響を与えており、短い文章などで発信するソーシャルメディアによって正確でない情報や、いわゆる「フェイクニュース」の拡散が繰り返されるなどの問題が生じています。

こうしたデジタル社会にあって、政治、経済、国際、社会など各方面にわたるニュースを総合的、体系的に知り、知識を得るための媒体として、新聞の価値は年を追うごとに再評価されています。読売新聞は、日本全国はもとより、海外の取材拠点に配置された記者による入念な取材に基づき、正確で質の高い情報を、全国の販売店網などを通じてお届けしています。

読売新聞グループは、今後も日本で最も信頼される総合メディア集団として、皆様とともに歩んでいきたいと考えています。

読売新聞グループ本社  
代表取締役主筆

渡辺恒雄

# 使命と責任 デジタル時代だからこそ

生活を豊かにした反面、  
根拠のない情報が飛び交うデジタル時代——。  
私たちには、確かな情報を届ける使命と責任があると考えています。

# 報道

読売新聞は世界最大の発行部数を有し、140年以上の歴史がある全国紙です。



読売新聞の特徴は、充実した報道と明快な主張にあります。数々のスクープで国民の「知る権利」に応え、「勇気と責任ある言論」を旨とする社説や、現実的で説得力のある提言報道で社会を動かしてきました。また、少子高齢社会の急激な進展を見据えて医療、社会保障、教育の各分野に取材専門部署を置き、読者のニーズに合った紙面をお届けしています。



## スクープ

### 隠れた真実を掘り起こす

新聞はニュースを報道しているだけではありません。読売新聞は数々のスクープを放ち、隠れた真実を掘り起こしてきました。2018年8月、東京医科大が医学部医学科の一般入試で女子受験生の得点を一律に減点し、合格数を抑制した問題の特報。その後連日この問題を取り上げました。文部科学省の調査で、順天堂大など他大学でも女子や浪人差別、特定の受験生の優遇が相次いで判明し、同省は2019年、全学部の入試で女子や浪人差別を禁止するなどのルールをまとめました。

スクープの記録▶



## キャンペーン報道

### 放置された問題を周知

放置された社会問題を広く世間に周知し、国の調査や制度改正、立法につながった報道も数多くあります。2019年には、横断歩道や交差点の近くにあるバス停について、歩行者の死傷事故につながるなどの危険性を訴えるキャンペーンを展開。国土交通省が危険なバス停の実態調査を行い、2021年に結果を公表しました。また、2020年から2021年にかけては、教員による児童・生徒へのわいせつ行為の実態を報道し、文部科学省による制度改正や、対策新法の成立をもたらすなど社会に大きな影響を与えました。

## 提言報道

### 国の将来像を見据え

1994年11月に憲法改正試案を発表して以来、安全保障、行政改革、経済政策、教育、税制、医療など、国の将来像にかかわる多くのテーマについて提言を行ってきました。その数は、2021年3月の新型コロナウイルスに関する提言まで計30回。2020年6月の新型コロナウイルスに関する提言(第1次提言)では「PCR検査能力を1日10万件に」と提起し、国の検査能力拡充につながりました。



提言報道の記録▲

## 社説

### 30年後の検証にも堪える主張

政治、経済、社会問題など国内外の重要なニュースに対し、社説でその主張を明確にしています。社説を統括する主筆の下に置かれた論説委員会が日々、徹底した討論で論調を決めています。「勇気と責任ある言論」を掲げる「読売信条」を基盤に、世論におもねることなく、「30年後の検証にも堪える」ことを基本姿勢として主張を練り上げています。



## 適正報道委員会

### 第三者的立場でチェック

調査報道や特ダネなど重要な記事を掲載する際、その内容が適正かどうかを複数のベテラン記者で構成する適正報道委員会が第三者的立場から事前にチェックします。取材記者や担当デスクから取材の経緯や内容を聞き取り、記事の裏付けが十分か、取材に基づく事実の評価が妥当かなどを検討します。



衆院本会議で首相に指名され、一礼する岸田氏(2021年10月、国会で)



津波で中心部が壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市。大規模なかさ上げ工事で作られた新しい市街地が広がる(2021年3月)

## 記者塾

### 質の高い記者教育

記者教育実行委員会(記者塾)は、新人記者からベテランまで経験年数や担当職務に応じた記者教育を行っています。報道の公共性や公益性に対する理解と記者倫理の徹底を図り、経験に応じて求められる取材手法などを研修しています。例えば、新人記者には入社後2か月間の研修を行い、社外の専門家を含めた講師陣が報道の意義、新聞への期待などについて講義します。さらに政治部、経済部などの取材も体験してから地方支局で実際の取材活動を始めます。



取材シミュレーションの研修に臨む新人記者たち

# コンテンツ

読売新聞にはニュースだけではなく、  
知見を深める解説や企画記事のほか、  
エンタメや暮らしに役立つ情報が満載です。

## 解説・企画

### 他にはない取材による深掘り

深い取材に基づいた解説記事やニュースを掘り下げる企画記事は、他にない読売新聞のオリジナルコンテンツです。

その時々にも注目されるニュースを深掘りして速報する「スカナー」(朝刊3面に毎日掲載)、ニュースの背景や現状、展望などを特集で解説する「基礎からわかる」シリーズ(朝刊に不定期掲載)、日替わりで旬のニュースを記者が解き明かす「New門」(ニュースの門、毎月第2土曜から朝刊に1週間掲載)など、読者の疑問に分かりやすく答える記事が満載です。

読売新聞の読者なら、ニュースサイト「読売新聞オンライン(YOL)」でも読むことができます。出典が明らかなので大学のレポートなどにも活用できます。

## コラム

### 新聞の「顔」 世相を活写

1面に掲載されるコラムは、筆力の優れた記者たちが読者を引きつける名文を披露しています。朝刊「編集手帳」は多彩なテーマで世相を活写、質の高さが評価されています。夕刊「よみうり寸評」とともに、わずか4百数十文字のスペースに、今を切り取り、エッセンスを凝縮したコラムは文章術の参考に最適です。



## 生活・娯楽

### 文化・芸能情報も

衣食住など暮らしに役立つ読み物のほか、テレビドラマや演劇、芸能人のインタビューや映画評など、読み応えのあるエンタメ情報も充実しています。専門の記者らが取材しているので、こうした情報も安心して読むことができます。相談コーナー「人生案内」では、老若男女の悩みに答える各界の有識者の絶妙な回答が好評です。



## 連載小説

### 人気作家が執筆

実力派や気鋭の作家の書き下ろし小説を朝夕刊で連載しています。

明治期には、言文一致の先駆的な作品とされた山田美妙の「武蔵野」を連載するなど文学新聞として名をはせ、尾崎紅葉の「金色夜叉」も熱狂的な人気を集めました。

昭和期には吉川英治「太閤記」や松本清張「砂の器」などの歴史的名作を連載。近年も、ベストセラーとなった角田光代さんの「八日目の蝉」のほか、浅田次郎さん、吉田修一さん、辻村深月さん、池井戸潤さん、川上未映子さんら人気作家が執筆しています。



## 漫画

### 長期連載で好評

朝刊社会面に連載中の植田まさしさんの4コマ漫画「コボちゃん」が2021年1月7日、通算1万3750回となり、一般全国紙の連載漫画として最多記録を達成しました。それにしけんじさんの「猫ピッチャー」(日曜版)は、プロ野球初の猫投手という設定の主人公・ミー太郎のかわいらしさが評判になり、アニメ化やキャラクターグッズの制作も行われています。



© 2013 そにしけんじ/読売新聞社

© 植田まさし 1982年～

# 多彩なメディア

読者のニーズに対応し、多彩なラインアップで、知的好奇心、探求心を満たします。

小学生向けの読売KODOMO新聞、中高生向けの読売中高生新聞は、週1回の発行でニュースをまとめ読みでき、親世代にも役立ちます。英字新聞The Japan Newsは英語学習に最適です。

## 読売KODOMO新聞

購読の申し込みはこちら



### 楽しく読めて、学習に役立つ

読売新聞社が毎週木曜日に発行する小学生向けの新聞です。タブロイド判で、20ページある紙面はオールカラーです。イラストや写真を大きく使い、ニュースや社会の仕組みを楽しく分かりやすくお伝えします。1週間の政治、経済、事件、国際、スポーツの主要記事を選び抜いて掲載しています。

学年誌や図鑑の編集に定評のある小学館や、大手学習塾の協力も受け、他紙では読めない、楽しい読み物や学習コーナーを用意しています。

若い読者の獲得は世界から注目され、2011年に、世界新聞・ニュース発行者協会(WAN-IFRA)の「世界青少年読者賞」(編集部門)の審査委員会栄誉賞を受賞しました。



## 読売中高生新聞

購読の申し込みはこちら



### 10代向けでわかりやすい

ニュースをはじめ、スポーツ、英語学習、書評、エンターテインメントに至るまで、30以上の多彩なコーナーを用意しています。2014年創刊です。

タブロイド判24ページのオールカラー。イラスト・図表をふんだんに使い、家族で楽しめ、学校の授業にも役立ちます。将来の職業を考える機会にと、各界のプロを密着取材した記事を毎週掲載。スマートフォン用の無料投稿アプリ「Yteen」は安全なネット環境での交流・議論の場を読者に提供しています。

これまでに例のない中高生新聞の創刊は、世界の評価を得ています。2015年に、世界新聞・ニュース発行者協会(WAN-IFRA)の「世界青少年読者賞」(編集部門)の最高賞を受賞しました。

## 読売中高生新聞

2021年(令和3年) 10月29日 毎週金曜日発行



## THE JAPAN NEWS

購読の申し込みはこちら



### 英語表現の幅を広げる

多彩な記事が英語学習に役立ちます。日本の政治、経済、社会などに関する読売新聞記事の英訳のほか、読売新聞の社説は毎日、対訳で英語と日本語の両方を掲載。海外のニュースや話題は、読売新聞の記事や海外通信社の記事に加え、米紙「ワシントン・ポスト」などの海外提携紙の特集記事も掲載し、情報量が豊富です。

日本の魅力などを伝える特集記事も掲載。美術や音楽、伝統工芸をはじめとする文化、アニメなどのポップカルチャー、食、観光などの情報をお届けしています。ビジネスや国際交流の場で使う英語表現の幅を広げるのにも役立ちます。

The Japan Newsのサイトはこちら



菅首相退陣の号外を受け取る人たち(2021年9月、東京都中央区で)



### 読売新聞のニュースサイト

「新聞 with デジタル」をキャッチフレーズに、読売新聞の月々の購読料金+0円で使えるデジタルサービスです。アプリを使って自分好みにカスタマイズもできます。日々のニュースはもちろんのこと、読者の方は新聞のレイアウトそのままの「紙面ビューアー」や、過去1年分の記事検索が利用できます。読者限定のウェブコラムや連載小説、数独やパズルなども充実。ネットショッピングやゲームでポイントがたまる「よみぼランド」からは、地域の特産品やグルメ食材などのプレゼントにも応募できます。



### DIGITAL SERVICE

# デジタルサービス



ニュースサイト「読売新聞オンライン(YOL)」を始め、多様なデジタルサービスを展開しています。



### 医療・健康・介護の情報満載

医療・健康・介護に関する役立つ情報を掲載しています。症状などから病気を調べられるデータベース「医療大全」、病院の治療実績がわかる「病院の実力」が、読売新聞の読者で読売新聞オンラインの読者会員登録をしている「読者会員」は追加料金なしで利用できます。有料登録会員には、電話による健康相談サービスも。



### 全国の美術展情報をたっぷり

全国の美術展情報をふんだんに紹介するポータルサイトです。キーワードやジャンルで検索できるほか、美術ファン向けに注目展の見どころをあらかじめ紹介、展覧会の詳しいレポートを掲載しています。コンテンツの利用や会員登録は無料です。アプリでチケット購入もできます。



### 読売新聞の記事を提供

年間30万件のペースで増える読売新聞の記事を、インターネットで検索、閲覧できる有料サービスを提供しています。研究やビジネスに最適です。

●ヨミダス歴史館

1874年(明治7年)の創刊号以来の1400万件以上の記事を収録。主に公共図書館や大学などで利用されています。

●ヨミダスパーソナル

明治以降の記事をお手元のパソコンなどで気軽に検索できる個人向けサービスです。閲覧した記事の見出しや本文の件数に応じて利用料が加算されます。

●ヨミダスforスクール

1986年以降の読売新聞の記事と1989年以降のThe Japan Newsの記事をテキストで読むことができます。学校教材用に特別価格で提供します。

●よみうり報知写真館

読売新聞社と報知新聞社のカメラマンらが撮影した写真の貸し出しを注文できます。

記事配信(法人向け)

重要なニュースをいち早く、サイネージなど各種ディスプレイにお届けします。英字ニュースのみの配信も可能です。



### 関西のいまを伝える

「挑むKANSAI」は、大きな変化に直面する関西の姿とその針路を多角的に伝えることを目的としたサイトです。2025年に開催される大阪・関西万博や、SDGs達成に向けた取り組み、スタートアップ企業育成、DMO(観光地域づくり法人)による観光振興といった幅広いテーマを掲げ、Webサイトだけでなく、紙面特集やイベント等を通じて広く情報発信しています。



### 福岡の話題を発信

福岡県内の「気になる」ニュースを記者が深掘り取材して、各地の話題を届けるローカルサイトです。地域の将来のために、自身の夢をかなえるために、目標に向かって奮闘する人物や団体のほか、新登場の施設、注目のグルメやイベント、街の表情など、幅広い視点で福岡の「今」を紹介し、SNSでも情報を発信しています。





# 喜びと感動を グループの総合力で

報道以外にも様々な分野の  
プロフェッショナルを擁する読売新聞グループ。  
全国に広がるネットワークとグループのリソースを活用し、  
多様な事業を展開しています。





### 統合型マーケティング支援

読売新聞の信頼性、コンテンツ制作力と、デジタルクリエイティブを牽引する各社の表現力を核に、統合型のマーケティングソリューションを提供するコンソーシアムです。読売グループの多様なリソースを活用しつつ、グループ内メディアに限らない様々な生活者との接点において、コンテンツをはじめとする適切な体験を提供し、マーケティング課題を解決に導きます。



### ワンストップで広告・販促を支援

小売業の広告・販促業務は、高度化した業務をバランスよくコントロールすることが求められます。読売新聞グループ本社、東急エージェンシー、オプト等による「リテールアド・コンソーシアム」は、小売業にかかる業務負担を軽減し、成長を支えるパートナーとして、広告・販促業務全般を企画・設計から実施まで一括して支援するBPO(Business Process Outsourcing)サービスを提供します。

### ビジョンでCM放映も

年間入場者数が約290万人(2019年実績)に上る東京ドームでの巨人戦で、企業、自治体などの様々なPRが可能です。球場内ビジョンでのCM放映、来場者へのサンプリング、コンコース上でのPRなど。試合前・試合中に、企業マスコットをグラウンドに登場させることもできます。要望に合ったPR方法の相談も受け付けています。



### クラウドファンディングで支援

クラウドファンディング(CF)は、起案者がやりたいこと(プロジェクト)と資金援助への見返り(返礼品)をインターネットサイトで発表し、支援者を募って支援金を集める仕組みです。CFサイト「idea market (アイデアマーケット)」はエンターテインメント、文化財保護や被災地支援など社会課題への取り組みなどを紹介しています。

PROJECTS

# 多彩な事業

読売新聞グループは幅広く事業を展開しています。おなじみの会社の意外な事業のほか、ビジネストレンドに合わせた新しい取り組みを紹介します。



### 観光で地方を元気に

自治体や地元企業と協力し、観光資源をより魅力的にしたり、首都圏などから送客して情報を発信したりする「観光振興事業」に取り組んでいます。観光で関係・交流人口を創出し、地方を応援します。



交通事業者と協力して実施した観光振興イベント(2021年12月、京都府京丹後市で)

寺社巡りで人気の「御朱印」の鉄道版として、地方鉄道40社と連携し「鉄印帳」事業を展開。地域のニーズに合わせたツアーを企画・集客し、地域振興に貢献します。



### アトラクションだけじゃない

座席数1000席の全天候型多目的ホール、展示会やパーティーの会場などに使えるイベントスペース(約700㎡)など、遊園地内に貸し出しスペースがあり独自イベントを実施することができます。また、アニメや映画など、様々な人気コンテンツとのコラボイベントの実績があり、遊園地来場者をターゲットにしたPRが可能です。



よみうりランド全景



### ハイセンスな女性にリーチ

世界約30の国・地域で発行され、約1700万人の読者を有するハイエンドなライフスタイルマガジン「マリ・クレール」。全国の都市圏で月間30万部を発行、読売新聞朝刊に折り込まれ、ファッション、美容を中心に、旅行、グルメ、ウェルネスなど、上質な生活を彩るライフスタイルを提案しています。



SDGsなどの社会的な問題にもアプローチ。「マリ・クレール デジタル」も充実のオリジナルコンテンツを提供しています。



### ベテラン記者が提言

読売新聞の「調査研究本部」は、所属する主任研究員を中心に調査・研究活動を行っています。その分野は、政治、経済、国際、社会保障、医療、科学など多岐にわたり、現状分析にとどまらず、諸課題の解決策について幅広く提言しています。

記者として取材経験豊富な主任研究員や内外の識者のオピニオンを掲載する季刊誌「読売クォーター」を発行しているほか、シンポジウムや講演会を随時、開催しています。論壇や国際社会に貢献した人をたたえる表彰事業も手がけています。

2019年には、セミナー開催などを専門的に担う一般社団法人読売調査研究機構を設立しました。



読売調査研究機構

## イベント

読売新聞社は、美術展やコンサート、スポーツ大会の開催を通じて、皆様の心を豊かにする取り組みにも力を入れています。



## 展覧会

### 国内外の文化を広く紹介

良質な展覧会を数多く開催し、国内外の文化を広く紹介してきました。1994年に東京・上野の国立西洋美術館で開かれた「バーズ・コレクション展」は、米国の収集家の所蔵品から門外不出の西洋近代絵画を展示し、107万人を動員した日本の展覧会史に残るイベントです。

近年も、フェルメール、ゴッホ、モネ、ルノワールらの傑作61点すべてが日本初公開となった「ロンドン・ナショナル・ギャラリー展」(2020年～2021年)など、話題を呼ぶ展覧会をプロデュースしています。

そのほか、ランを中心とした「花」や「緑」の普及を目的に開催する世界最大級のランの祭典「世界らん展」、古典を踏まえた伝統的な書を志向する国内最大規模の公募展「読売書法展」などを開催しています。



色鮮やかなランが並ぶ「世界らん展 2020 -花と緑の祭典-」の会場(2020年2月、東京都文京区で)

## 音楽・舞台

### 幅広い分野の興行

「読売日本交響楽団」は、新聞社が持つ世界唯一のオーケストラとして、1962年に発足しました。1966年のビートルズ来日公演を主催するなど、読売新聞社は幅広い分野の興行を手がけています。



読売日本交響楽団

## スポーツ



(上)大勢の選手らが参加して行われた全国高校総体の総合開会式(2019年7月、鹿児島市で)



(右)箱根駅伝で、東京・大手町の読売新聞社前を一齐にスタートする選手たち(2021年1月、東京都千代田区で)



2017年開幕セレモニーでオレンジ色に染まった東京ドーム

### スポーツの素晴らしさを伝える

プロ野球の巨人戦、箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)、全日本大学女子駅伝を開催し、スポーツの素晴らしさを伝える手助けをしています。また全日本U-12サッカー選手権大会を主催、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)を共催するなど、学生スポーツにも精力的に取り組んでいます。

## 講演・その他

### 専門家の知見を紹介

経済人、学識経験者、在日外国大使館関係者などで組織する「読売国際経済懇話会(YIES)」の講演会、内外の有識者の議論を通じて政治や経済、社会、外交のあり方を探る「読売国際会議」、世界の英知・ノーベル賞受賞者が集う「ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム」を開催しています。時代のキーパーソンや第一線で活躍する文化人らを講師に、最先端の知見や情報を提供する「読売Bizフォーラム東京」や「大手町アカデミア」、日本の科学技術を後押しする「読売テクノ・フォーラム」などもあります。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、オンライン配信にも積極的に取り組んでいます。



大手町アカデミア



シンポジウム・フォーラム

## 棋聖戦、竜王戦

### 国内最高位の公式戦を主催

囲碁、将棋の国内最高位の公式戦を主催しています。囲碁の棋聖戦は1976年に、将棋の竜王戦は1987年に創設され、長い伝統があります。タイトルホルダーを決する七番勝負は、毎年全国各地で行われ、地域の文化振興や活性化にも大きく貢献しています。



第34期竜王戦七番勝負第1局で初手を指す藤井聡太三冠と、豊島将之竜王(いずれも当時。2021年10月、東京都渋谷区で)

# 販売・印刷・輸送

全国を網羅するネットワークを活用し、  
他業種との連携など新たな取り組みも始めています。

## ネットワーク

### 全国に広がる印刷工場と輸送・販売網

東京本社などで作った紙面データは、全国30か所の印刷工場へ送信され、高速輸転機で印刷されて新聞ができあがります。刷り上がった新聞は独自の輸送網で速やかに読売新聞販売店(読売センター=YC)に運ばれます。新聞制作には、常に新しい技術を取り入れています。輸転機は電力消費が少ない最新機種を順次導入することで省エネに努めています。また、自動化機能を積極的に取り入れることで省力化も進めており、AIを利用した新たな取り組みも始め、自動運転をにらんだ省力化も目指しています。

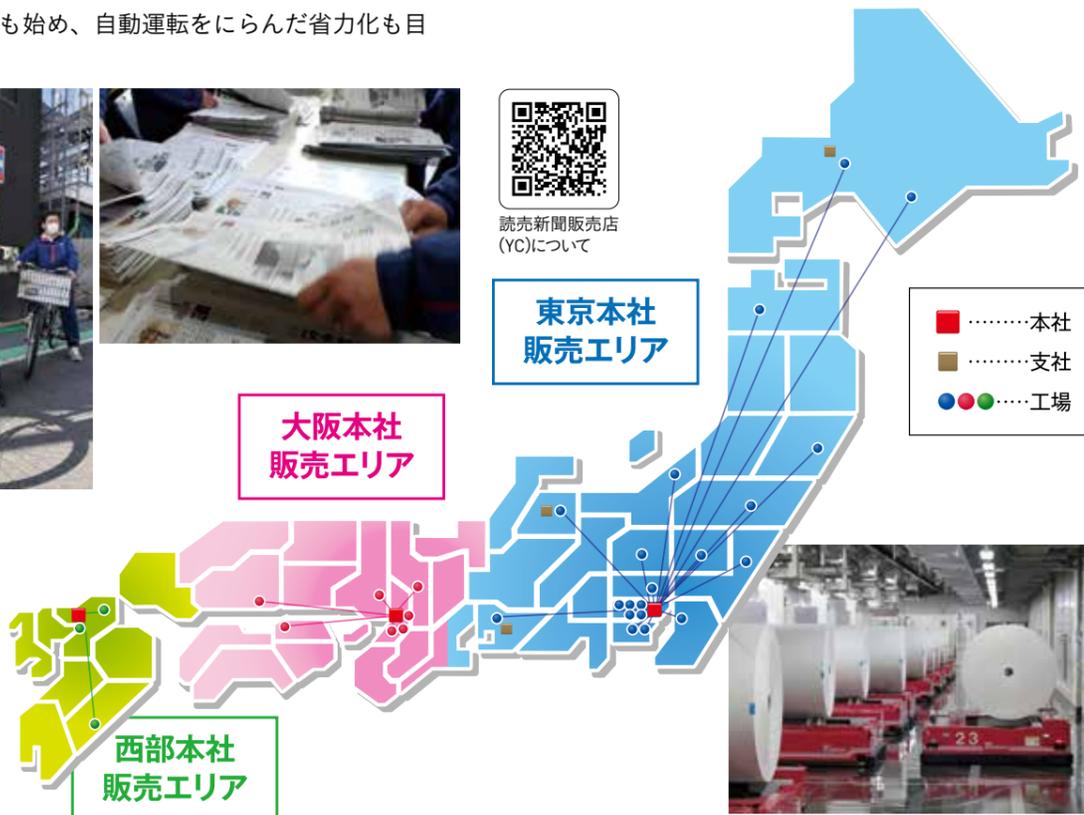
YCは他紙も扱う店舗を含めると、全国に約7000店あり、約6万人のスタッフが働いています。スタッフは新聞配達や購読料金の集金以外にも、様々な読者サービスを行っています。また、防犯や見守りなど、地域に密着した活動も行っています。新聞社が得意とする印刷・輸送の分野では、YCを含め次ページのような新たな取り組みも展開しています。



取材拠点・印刷工場



読売新聞販売店(YC)について



## 宅配サービス

### 新聞販売店がお届け

読売新聞社は、総合物流企業「SBSグループ」とともに、地域に根差した宅配サービス「YCお届け便」を提供しています。新聞配達や集金で地域を知り尽くしているYCスタッフが迅速にお荷物をお届けします。東京全域(島しょ部を除く)。2021年末時点)をカバーしており、2022年度には千葉、神奈川、埼玉各県へも順次サービスを拡大していきます。



## 他業種との連携

### マクドナルド商品の宅配も

読売新聞社は日本マクドナルド社とパートナーシップを組み、全国のYCがマクドナルドの宅配サービス「マックデリバリー」を受託しています。2021年12月時点で東京、神奈川、千葉、埼玉、新潟、愛知、大阪、兵庫、広島、福岡、熊本など18都府県の約160 YCがマック商品を配達しており、さらに拡大予定です。



## 輸送網を活用

### 新聞トラックで定時配送

読売新聞グループの輸送網を活用して運送事業を行う「読売ロジスティクス」。各地の印刷拠点から新聞販売店に、新聞を毎日お届けするノウハウを活用すれば、輸送コストを下げられるかもしれません。新聞などと荷物を一緒に運ぶ「混載便」、新聞を新聞販売店に届けた後、新たな荷物を引き取って運ぶ「ラウンド便」などの仕組みを導入し、高品質で安価な輸送を実現します。



## デザインから配送まで

### あらゆる印刷物に対応

読売新聞東京本社100%出資の新聞印刷会社「読売プリントメディア」は、あらゆる印刷物に対応します。広告宣伝媒体のポスター、パンフレット、自治体広報紙や選挙公報、ミニコミ紙、書籍などの出版物、名刺、封筒などの事務用品まで——。デザインから印刷・配送までワンストップで印刷物に反映します。



# 社会貢献

読売新聞社は、環境対策、文化やスポーツの振興、教育、医療、福祉の充実など、それぞれの分野で社会に役立つ活動に長年取り組んできました。



## SDGs

### 環境・脱炭素に配慮

持続可能な開発目標(SDGs)を達成するため、国連が世界の主要な報道機関に対して協力を呼びかける「SDGメディア・コンパクト」に2020年6月から参加し、環境・脱炭素に配慮した新聞制作・発行や配送、新聞販売を取り巻く課題解決などに取り組んでいます。

#### 印刷工場での太陽光発電

新聞制作・発行の分野で、読売新聞東京本社は2021年8月から、群馬工場(群馬県藤岡市)にPPA(電力購入契約)モデルと呼ばれる電力供給サービスを利用した太陽光発電システムを導入しました。工場の屋根に出力約500kw・77の発電設備を設置し、発電したグリーン電力を新聞印刷などに活用しています。



太陽光発電システムを導入した群馬工場

#### 読売の森と古紙回収

読売新聞東京本社と読売新聞販売店(YC)、古紙回収業者の3者で運営する古紙回収推進組織「読売リサイクルネットワーク」(YRN)は2013年から、森林の再生と育成を図る目的で、「読売の森」事業を進めています。これと並行して、YCで組織する連合読売会も埼玉県東秩父村、千葉県山武市、神奈川県小田原市でこの事業を行っています。

また、2020年4月からは、読者の自宅から回収した新聞古紙を国内製紙会社に直接販売し、資源を100%国内で循環させる「クローズド・ループ」システム(読売エコシェアリング)を始めています。



花粉の少ない木を植える県民参加の森づくり(2016年5月、神奈川県小田原市で)

#### 環境負荷低減に配慮した輸送

読売新聞グループ本社は2019年6月から、日本マクドナルド社と提携し、本社の新聞輸送トラックに、マクドナルドで使う食材などを混載して共同輸送を行っています。両社の輸送効率化とトラックの運行台数減による環境負荷低減が目的です。

大阪本社では2020年9月、関西電力、岩谷産業、日本マクドナルド、京都市とともに、新聞配達などの業務で電動バイクを使い、バッテリーをシェアする協議会を設立しました。排ガスを出さず、環境に優しい電動バイクを普及させることを目指しています。

## 活字の学び

### 読解力向上の助けに

読売新聞社は、2014年に「読売新聞教育ネットワーク」を創設し、学校現場で「活字の学び」を推し進める活動を支援しています。新聞記事を素材に読解力向上の助けとなる教材を、授業の中で使用したいという先生方のご希望に応じて新規開発。学習指導要領に準拠したオリジナル教材「よむYOMUワークシート」(読解力シート)を、学校や教育委員会に週1回、配信しています。小中高校を対象に、記者による出前授業も行っています。



「出前授業」で講義するベテラン記者

## ワクチン接種に貢献

### 東京ドームをワクチン接種会場に

新型コロナウイルスのワクチン接種に貢献するため、読売新聞東京本社は2021年8月から、読売巨人軍、三井不動産などと連携し、東京都のほか、文京区、新宿区、港区など5区の合同接種会場として東京ドームを無償提供しました。医師や看護師、薬剤師の確保など運営にも全面協力し、11月までの計34日間で約2万8000人に2回の接種を行いました。東京本社内の職域接種会場でも、近隣自治体の職員や住民の接種を受け付けました。



東京ドームに開設された会場で新型コロナウイルスのワクチン接種を受ける男性(2021年10月、東京都文京区で)

## 表彰事業

### 個人や団体を表彰

読売新聞社は、文化・スポーツ、教育、医療、福祉の分野で優れた業績を挙げた個人や団体を表彰しています。

文化・スポーツの分野では、国内唯一の総合文学賞として定着している「読売文学賞」をはじめ、その年のスポーツ界で最も活躍した選手、チームに贈られる「日本スポーツ賞」、国内外の障がい者スポーツ競技会で優れた成績を収めた選手・チームを表彰する「日本パラスポーツ賞」などがあります。

教育、医療、福祉では、日本の将来を担う若者たちの英語の上達と国際親善を目的とした「高円宮杯全日本中学校英語弁論大会」のほか、山間部や離島など、厳しい環境のもとで長年、地域に密着した活動を続けてきた医療従事者を表彰する「医療功労賞」、新しい時代にふさわしい福祉活動に取り組んでいる団体などを顕彰する「読売福祉文化賞」などを設けています。

## 紡ぐプロジェクト

### 日本美を守り伝える

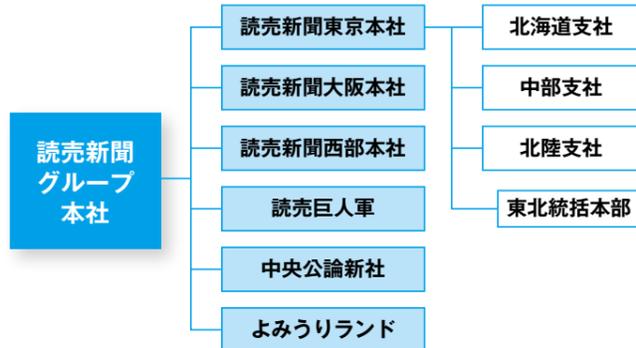
「『紡ぐプロジェクト』—皇室の至宝・国宝プロジェクト—」は、皇室ゆかりの優品や、国宝・重要文化財など古くから守り伝えられてきた日本の美を国内外へ、さらに未来へ伝えることを目的に文化庁、宮内庁と官民連携で取り組んでいるプロジェクトです。文化財修理事業への助成、日本美術・文化の魅力を発信するウェブサイト「紡ぐ TSUMUGU : Japan Art & Culture」の運営、特別展覧会の開催といった事業に取り組んでいます。文化財の「保存・修理・公開」のサイクルを永続させる仕組みを作っていきます。

国宝「木造阿彌陀如来坐像」の9体のうち、最も大きな「中尊」を修理施設に運ぶ作業(2020年6月、京都府木津川市の浄瑠璃寺で)



# グループ案内

読売新聞グループは、150年近い歴史がある読売新聞を中心に、文化、スポーツ、レジャーなど様々な分野の有力会社を抱える「総合メディア集団」です。持株会社である読売新聞グループ本社の下、約150の多彩な会社・団体で構成されます。グループ本社の下に、読売新聞東京本社・大阪本社・西部本社、中央公論新社、読売巨人軍、よみうりランドの6つの本社を擁しています。



## 読売新聞の組織

読売新聞の組織は、正確で公正な取材・報道を行う編集局、全国に新聞を配達するネットワークを維持・強化する販売局、企業の商品・サービスや自治体の取り組みをクリエイティブに伝える広告局、スポーツや文化を通じて感動を届ける事業部門、新しい技術で新聞を印刷する制作部門、インターネットを通じた情報発信を担うメディア局などで構成されています。

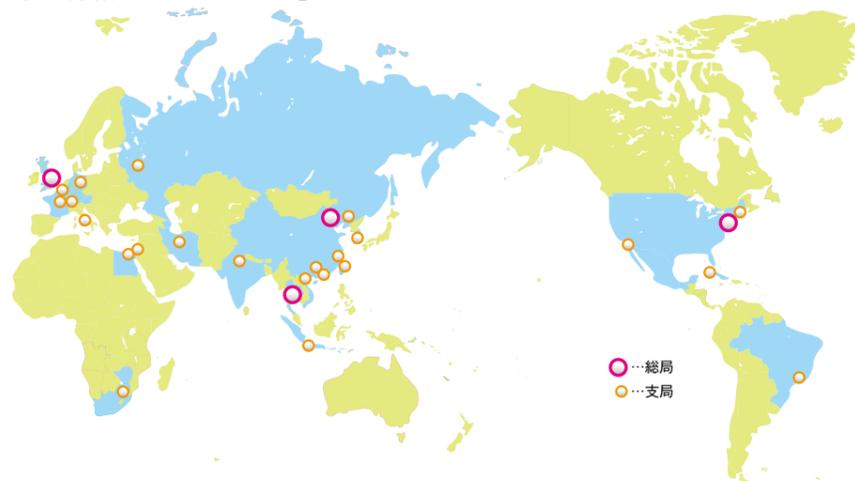


## 取材拠点

読売新聞の取材拠点は、**[海外取材網(2022年1月現在)]** 国内が全47都道府県に約300か所、海外が21か国・地域に27か所あります。



取材網はこちら



ヨーロッパ	ロンドン(欧州総局)、パリ、ブリュッセル、ジュネーブ、ベルリン、ローマ、モスクワ
北米・中南米	ワシントン(アメリカ総局)、ニューヨーク、ロサンゼルス、ハバナ、リオデジャネイロ
東アジア	北京(中国総局)、上海、瀋陽、広州、香港、台北、ソウル
東南アジア	バンコク(アジア総局)、ジャカルタ、ハノイ
南西アジア	ニューデリー
中東	カイロ、エルサレム、テヘラン
アフリカ	ヨハネスブルク

## 会社・工場見学

会社・工場見学の申し込みを受け付けています。見学は要予約、無料です。新聞社や記者の仕事、印刷工場の業務を楽しく知ることができます。会社見学は東京、大阪、西部の3本社で体験できます。※予告なく中止・内容変更することがあります



## 主なグループ会社

新聞・印刷・出版	中央公論新社、報知新聞社、福島民友新聞、スポーツ報知西部本社、旅行読売出版社、読売プリントメディア、青森読売プリントメディア、ミナト、読売大阪プリントメディア、読売NEXT
販売・輸送	読売情報開発、読売IS、読売ハートサービス、よみうりコンピュータ、読売情報開発大阪、読売企画開発、読売人材開発、読宣、読売西部アイエス、読売西部情報開発、読売ロジスティクス
広告	読売エージェンシー、読売アドセンター、読売連合広告社、読売エージェンシー大阪、読売広告西部
レジャー・サービス・不動産	読売巨人軍、よみうりランド、読売旅行、読売ゴルフ、読売プラス、読売不動産、読売システック、大阪読売サービス、読売西部サービス
流通	マロニエゲート
教育・文化・教養	学校法人 読売理工学院、公益財団法人 読売日本交響楽団、読売・日本テレビ文化センター、読売調査研究機構
福祉	社会福祉法人 読売光と愛の事業団、公益財団法人 正力厚生会、読売健康保険組合、大阪読売健康保険組合
テレビ局	日本テレビホールディングス、読売テレビ放送



## 読売新聞グループの主な施設



**よみうり大手町ホール**(読売新聞ビル4~5階)  
コンサート、シンポジウムなど様々な用途に対応する501席の劇場型ホール。デジタル映写機を導入するなど充実した音響、映像空間を提供します。能舞台も設けることができます。397人収容の小ホールもあります。



**マロニエゲート銀座1~3**  
東京・銀座マロニエ通りの玄関口に立地する3棟の商業施設です。マロニエゲート銀座2&3の前身は1984年から営業してきた百貨店プラタナ銀座です。近隣には、商業・ホテルの複合ビル「読売並木通りビル」もあります。



**よみうりランド**  
東京・稲城市と川崎市にまたがる総合レジャー施設。絶叫マシンなどのアトラクションや、ものづくりが体感できる「グッジョバ!!」、季節限定のプールやここでしか見られない宝石色のイルミネーション「ジュエルミネーション」が楽しめます。



**読売会館**  
東京・有楽町にある商業ビルです。6階までは商業区画、7階から9階は映画館と有楽町よみうりホールです。有楽町よみうりホールは1100席(1階席522、2階席578)で、コンサート・落語・講演会・試写会などに幅広く利用されています。



**SENRITO(センリト)**  
大阪本社と読売テレビが大阪府豊中市の千里中央駅で関西電力グループと建設した街中で、タワーマンション「シエリタタワー千里中央」(地上52階、地下1階)と商業施設「SENRITOよみうり」で構成されています。



**読売名古屋ビル**  
(ホテル「コートヤード・バイ・マリオット名古屋」)  
中部支社の旧社屋跡地(名古屋市中区)に2022年3月開業。地上12階、地下1階建てで、客室は360室。宴会場や会議室もあり、披露宴やビジネスにも利用できます。読売新聞東京本社が土地・建物を所有しています。

# 読売新聞小史



## 明治

1874年(明治7年)11月2日

読売新聞を創刊 ❶

1897年(明治30年)1月1日

尾崎紅葉「金色夜叉」の連載開始 ❷

## 大正

1914年(大正3年)4月3日

「よみうり婦人附録」を新設

1917年(大正6年)4月27日

「東海道駅伝徒歩競走」を開催(駅伝競走の始まり) ❸

1925年(大正14年)11月15日

「よみうりラヂオ版」を新設

## 昭和

1931年(昭和6年)11月25日

夕刊を発行

1934年(昭和9年)12月26日

巨人軍の前身「大日本東京野球倶楽部」発足 ❹

1936年(昭和11年)7月25日

オリンピックを「五輪」と紙面で初めて表記

1946年(昭和21年)7月1日

読売新聞の題字を隷書体で表記(現在の題字)

1946年(昭和21年)9月1日

「読売信条」を発表

1949年(昭和24年)3月1日

朝刊1面に「編集手帖」を常設化

1952年(昭和27年)11月25日

大阪読売を発刊(全国紙への飛躍)

1954年(昭和29年)3月16日

**スクープ記事** 第五福竜丸がビキニ水爆実験で被曝(菊池寛賞) ❺

1955年(昭和30年)4月1日

英字新聞を創刊

1962年(昭和37年)4月1日

読売日本交響楽団を設立

1964年(昭和39年)9月23日

西部読売を発刊

1966年(昭和41年)6月30日

ビートルズ日本初公演を主催 ❻

1971年(昭和46年)6月30日

**スクープ記事** 22年前の弘前大教授夫人殺害事件で真犯人が名乗り(新聞協会賞、菊池寛賞)

1971年(昭和46年)10月29日

東京・大手町に社屋完成

1973年(昭和48年)8月23日

**スクープ記事** 金大中事件に韓国公的機関員が介在(新聞協会賞)

1975年(昭和50年)3月25日

中部読売を発刊

1977年(昭和52年)2月

発行部数日本一を達成

1986年(昭和61年)10月19日

東京本社の新聞制作が完全コンピューター化

## 平成

1991年(平成3年)6月

**スクープ記事** 雲仙・普賢岳噴火で火砕流(新聞協会賞) ㉗

1994年(平成6年)5月

発行部数が1000万部を突破

1994年(平成6年)11月3日

読売憲法改正試案を発表

1995年(平成7年)1月1日

**スクープ記事** 山梨県上九一色村(当時)でサリン残留物検出 ❸

1995年(平成7年)6月16日

ニュースサイトを開設(デジタルサービスのスタート)

1998年(平成10年)6月6日

**スクープ記事** 妻以外の女性から卵子の提供を受け、国内初の体外受精(新聞協会賞)



1999年(平成11年)2月1日

中央公論新社が発足。読売新聞グループに

2000年(平成12年)1月1日

新しい「読売信条」を制定

2001年(平成13年)5月10日

読売新聞記者行動規範を制定

2002年(平成14年)7月1日

持株会社「読売新聞グループ本社」の下に、東京本社、大阪本社、西部本社、中央公論新社、読売巨人軍の5社を配する「基幹6社」体制に

2002年(平成14年)10月17日

日本オリンピック委員会(JOC)オフィシャルパートナーに ❹

2004年(平成16年)7月9日

全国読売防犯協会を設立

2006年(平成18年)8月13日、15日 「昭和戦争」の責任について最終報告を公表

2008年(平成20年)3月31日

「メガ文字」を導入。1ページ12段に

2009年(平成21年)12月22日

**スクープ記事** 核密約文書、佐藤元首相邸に(新聞協会賞) ❶

2011年(平成23年)3月3日

読売KODOMO新聞を創刊 ❶

2011年(平成23年)7月21日

**スクープ記事** 東電OL殺害事件で、遺留物から別人DNA(新聞協会賞) ❷

2011年(平成23年)10月12日

読売KODOMO新聞が世界新聞・ニュース発行者協会(WAN-IFRA)の世界青少年読者賞(編集部門)の審査委員会栄誉賞を受賞

2014年(平成26年)1月6日

東京・大手町に新社屋「読売新聞ビル」が開業 ❸

2014年(平成26年)6月10日

東京本社に初の女性役員が誕生

2014年(平成26年)11月7日

読売中高生新聞を創刊 ❹

2014年(平成26年)11月14日

**スクープ記事** 群馬大病院で腹腔鏡手術後に8人死亡(新聞協会賞) ❺

2015年(平成27年)4月9日

読売新聞の創刊からの号数が5万号に

2015年(平成27年)9月3日

読売中高生新聞が世界新聞・ニュース発行者協会(WAN-IFRA)の世界青少年読者賞(編集部門)の最高賞を受賞

2016年(平成28年)1月

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会とオフィシャル新聞パートナー契約を締結

2019年(平成31年)2月1日

デジタルサービス「読売新聞オンライン」スタート

## 令和

2020年(令和2年)6月22日

新型コロナウイルス感染拡大を受け提言を発表 ❻

2021年(令和3年)3月21日

グループ本社がよみうりランドを株式公開買い付け(TOB)により完全子会社化。基幹7社体制に

2021年(令和3年)3月25日

三井不動産が東京ドームをTOBにより完全子会社化。グループ本社は東京ドーム株式の20%の譲渡を受け、関連会社化

2021年(令和3年)4月27日

三井不動産が東京ドームをTOBにより完全子会社化。グループ本社は東京ドーム株式の20%の譲渡を受け、関連会社化



# 読売新聞